

経皮的僧帽弁接合不全修復術(クリップ術)

・僧帽弁閉鎖不全症(逆流症)とは？

この疾患は、心臓の中の左心房と左心室の間にある僧帽弁と呼ばれる2枚の扉からなる逆流防止弁が、様々な理由で十分に閉じなくなり、血流が逆流してしまう疾患です(図1)。この疾患により、全身への正常な血液の流れが損なわれてしまいます。進行すると心不全症状(息切れや浮腫)を認め、さらに重症になると心不全などによる入院を繰り返すことになります。

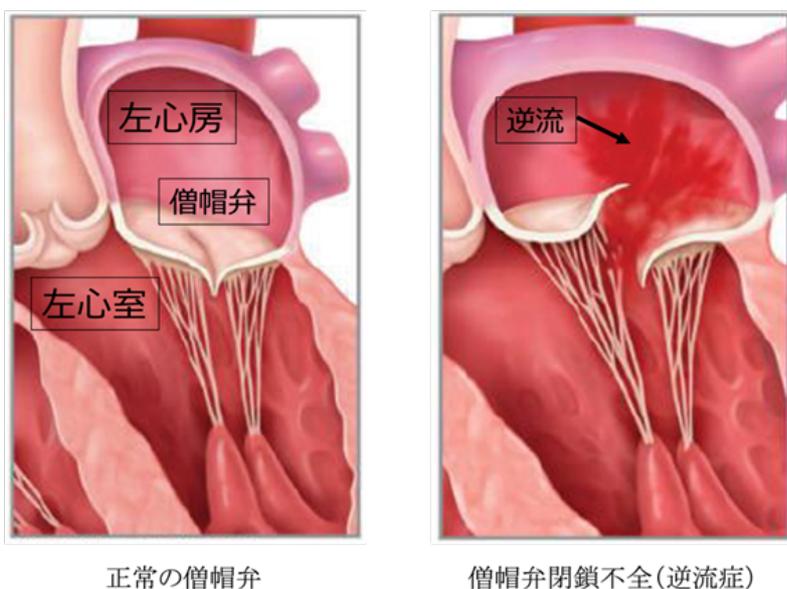


図1

・経皮的僧帽弁接合不全修復術の概要

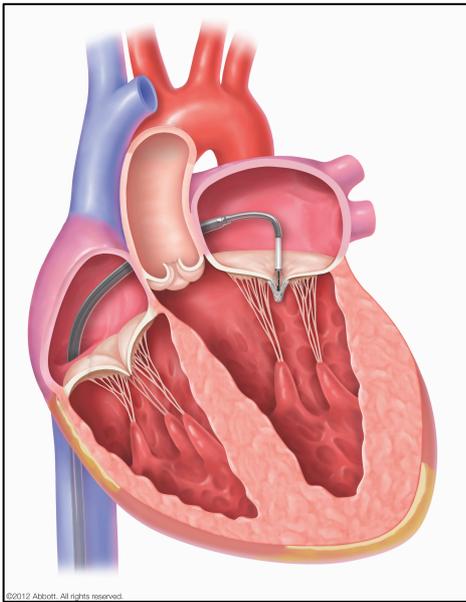
この治療法は、カテーテルを用いた僧帽弁逆流に対する治療法です。僧帽弁逆流の標準的治療法は外科手術(弁形成術、弁置換術)ですが、本治療は外科手術のように胸を切開することや心臓を停止させる必要がないことから、身体への負担が少なく、手術の危険性が高い、もしくは不可能と判断された患者さんが適応となります。具体的には、非常に高齢の方、心臓や肺の機能が非常に悪い、免疫不全の状態である、全身の脆弱性が高い、開胸手術の既往がある、などの患者さんがあげられます。

通常は、全身麻酔下で大腿静脈からカテーテルを用いてアプローチし(図2)、逆流をおこす閉じなくなった弁に対して、両方の弁尖をクリップ(MitraClip)でつまみ(図3)、逆流を少なくする治療です。

・治療に向けて

心臓超音波検査で僧帽弁の形態を評価し、手術リスクを含めた全身状態の評価を行い、適応の決定には、循環器内科医(カテーテル医、心エコー医など)、心臓血管外科医、麻酔科医などの多数からなるハートチームカンファレンスで最適な治療法 (MitraClip・外科手術・内科的治療) を検討します。

* 治療適応となる患者さんに関しては、別紙チェックリストをご参照ください。



(図 2)



(図 3)

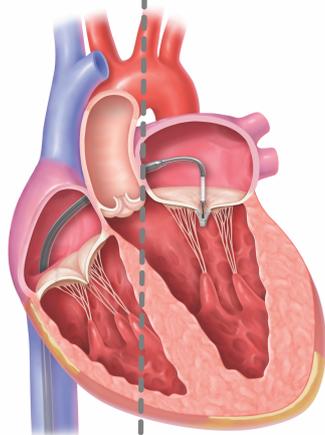
提供：Abbott 社

マイトラクリップ® チェックシート

以下の4つの□にチェックが入ればマイトラクリップの適応となる可能性があります

はい いいえ

- ① 慢性心不全のある患者さんである
- ② 息切れや体重増加、BNP 高値などがある
- ③ 僧帽弁逆流（MR）が中等度以上である
（運動負荷で重症 MR となる可能性もございます）
- ④ 体力的に外科手術が難しいかもしれない
（外科手術を含めて当院で精査・判断させていただきます）



～マイトラクリップ®の流れ～

ステップ① 全身麻酔で行います。

ステップ② 太ももの付け根のより管（シース）を入れて右心房→左心房へ進めます



『マイトラクリップ®』なら手術を諦めていた患者様の
弁膜症治療が実現できるかもしれません



MR の分類と原因疾患

一次性（器質性）MR

逸脱症やリウマチ性、石灰化、感染性心内膜炎、乳頭筋断裂、自己免疫性疾患

二次性（機能性）MR

左室機能低下（心室性機能性 MR：心筋梗塞や拡張型心筋症）、心房細動（心房性機能性 MR）

MR の治療方法

一次性・二次性 MR とともに第一選択は外科手術 →手術困難症例にマイトラクリップ®
ハートチームで適応を判断致します。

マイトラクリップ（MitraClip®）

MR の治療の第一選択は外科手術です。手術適応がある患者様でも半数以上が手術に至っていないと言われています。マイトラクリップ®は外科手術が困難と判断された MR に対する有効な治療方法となります。

医療機関からのご予約

- ① 予約専用電話（093-691-7666）にお電話ください
- ② 事前 FAX をお願いしております 事前 FAX 専用（0120-927-489）
「予約表 兼 診療情報 事前 FAX 送信票」と「紹介状」の 2 点を FAX お願いします

産業医科大学病院 第 2 内科学（循環器内科・腎臓内科）

毎週 火曜・金曜

初診 午前 8 時 30 分～11 時 00 分

病院代表 TEL 093-603-1611

予約専用 TEL 093-691-7666

事前 FAX 専用 0120-927-489

医師への連絡、診療情報に関する問い合わせは地域連携室へお願いします

地域連携室 直通 TEL 093-691-7394

直通 FAX 093-691-7395